



羽合小学校 学校通信

平成26年4月24日 NO, 13

できる・できない やる・やらない

大違い

学校は「できない」ことを「できる」ようにする場所です。できないことは恥ずかしい事ではなく、「できる」ように努力しないことこそ恥ずかしいことです。「できる」「できない」の違いは、できるようになるまでに少しでも時間差があるということです。

生まれた時には、誰もが言葉を話すことができません。最初からキャッチボールができる人もいません。最初から算数ができる、歌が歌えるという人もいません。すべて「できる」ようになったのです。できるようになるには努力が必要ですが、赤ちゃんは日本語ができるように意識して努力したわけではありません。このように小さいときには意識しなくてもできるようになっていくことはたくさんあります。

ところが、例えば自転車に乗るといったことはどうでしょうか。練習した事を思い出される方も多いのではないのでしょうか。みんなが同じ時期に同じように自転車に乗れるようにはならないのですが、練習すればできるようになります。できるようになりたいと意識し努力すればできるようになるのです。「できる」ように努力

することで道は拓かれるのです。人が成長していく過程では、できるようになるために努力が必要なことが増えていくように思います。

努力について学ぶことは2つあります。

- ひとつは、**努力の結果として「できる」ようになる**ことです。学んだ成果はやはり大切です。
- もう一つは**できるように努力することの尊さに気づく**ことです。目標をかなえるために粘り強く取り組み続ける事ができること、それこそが尊いのです。

わたしたちの羽合小学校では、努力し続けるこどもたちを育てる教育活動を行います。よろしくお願いします。

できるのにやらないという姿に残念ながら出会うことがあります。ふざけたり、おもしろがったりしてその瞬間だけ楽しんでいる姿は問題外です。努力の尊さを学ぶことができていないのは、やはり、わたしたちの努力が実っていないということです。わたしたちも努力し続けなければなりません。

【参観日御礼】

昨日の参観日にはたくさんの保護者の方に来校いただき、ありがとうございます。総会では、本年度のPTA活動の中心に「あいさつ」を取り上げていただきました。親・子・教職員・地域の間で積極的なあいさつが交わされるようご協力ください。大切なのはあいさつの後の「笑顔」です。互いに心が豊かに暖かくなります。そういう輪の中でこどもたちを育てていきたいと思えます。よろしくお願いします。

羽合小学校 寺谷英則